



若柳 良明 議員  
(平和環境市民クラブ)

## 大雨洪水災害の復旧方針は 災害被害額に応じた復旧支援

**Q** 道路、河川、水路等は、市の方針により、それぞれ復旧に取り組むと考えるが、農地など個人所有地に係る災害の復旧について、市の支援の考え方を伺う。

**A** **【市長】** 市では、復旧に係る補助制度等の周知を図るため、「豪雨災害に係る農地等の災害復旧について」というチラシを作成し、農家組合等を通じて周知を図っている。農地は、個人所有地であるため、基本的には所有者が主体となって復旧することになる。その際、被災額が1カ所当たり40万円未満の場合は、復旧に必要な材料費、機械に係る経費の全額を市が負担し、所有者が災害復旧を行う。また、被災額が1カ所当たり40万円以上の場合、市が事業主体となり「豪雨及び暴風雨による災害についての激甚災害並びにこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令」による高率の国の補助金を受けて復旧することとしている。

## 木材利用促進計画は

**Q** 「図書館」や「こどもの城」等の建築計画がある公共施設を含め、今後、整備する公共施設において、



地元産材を積極的に利用した施設(大迫総合支所)

地元産材を積極的に利用すべきと考え、市の木材利用促進方針について伺う。

**A** **【農林水産部長】** 公共施設等への木材利用促進計画について、市では「花巻市公共建築物等木材利用促進基本方針」に基づき、市の公共建築物等においては、法令等の規定により制限がある場合などを除き、可能な限り木造化を推進し、木造化が困難な場合でも、壁や床、手すりなどの木質化を推進することとしている。



鎌田 幸也 議員  
(花巻クラブ)

## 災害時の情報伝達の方法は 消防署員と団員が各戸に伝達

**Q** 8月9日の大雨の際、石鳥谷地域の33世帯に避難勧告が発令されたが、人命にかかわる情報であり、確実に伝えなければならぬ。対象世帯への伝達は、どのような方法が取られたか。

また、今回の記録的大雨は、気象庁から新たに発せられる特別警報の対象となるものと言われている。特別警報は、注情報や警報の上位の警報であり、各自治体に対して、住民への周知が義務づけられているが、どのような方法で市民に伝達するのか。

**A** **【市長】** 北上川の大正橋付近で午前11時から12時までの間に1.5メートルの急激な水位上昇があり、その後も上昇が続いたことから、石鳥谷町好地には午後6時に、江曾地区には午後6時45分に避難勧告を出した。このため、対象地域の住民に対する周知は、広報車を巡回して対象の地域に知らせたほか、消防署員や消防団員が各戸を巡って直接伝えた。また、エリアメールと「えふえむ花巻」の放送を通じても随時広報を行った。

特別警報については、テレビやラジオを通じて周知されるが、市としては、これまでと同様にエフエム放送や



宅地近くまで水が迫り避難勧告が出された地区

メール等で伝えることとしている。また、Jアラート(全国瞬時警報システム)津波警報、緊急地震速報、弾道ミサイル情報等の対処に時間的余裕のない緊急情報を、消防庁から人工衛星を用いて送信し、市区町村の同報系防災行政無線を自動的に起動させ、住民に瞬時に伝達するシステムによっても地方公共団体等に伝達されるので、本年度において、自動起動装置を導入し、「えふえむ花巻」防災行政無線、有線放送で24時間いつでも直ちに警戒情報を伝達できる体制整備を進めている。



藤井 英子 議員  
(平和環境市民クラブ)

## 市独自の追跡調査をすべきでは 今後も情報の把握に努める

**Q** 子宮頸がんワクチン接種は、本年4月の予防接種法改正に伴い、小学校6年生から高校1年生相当までの女子を対象に定期接種となったばかりであるが、6月14日の厚生労働省の「国民に適切な情報提供ができるまでの間、定期接種を積極的に勧奨すべきではない」とする勧告は異例のことである。市民の不安を軽減するためにも、市独自にワクチン接種後の追跡調査をすべきと考えるがどうか。

**A** **【健康こども部長】** 予防接種の対象者には、必ず予防接種説明書を渡し、副反応への相談は、接種を受けた医療機関の医師や保健センターなどで行っている。また、副反応に関する相談事を医療機関の医師が受けた場合には連絡をいただき、市でも確認することとし、学校生活で何か気づきがあった場合には、学校保健会に情報提供をお願いしている。今後も、医療機関や学校関係者などと連絡を取りながら状況の把握に努める。

よる地域貢献の仕組みづくりを積極的に推進する考えはないか。

**A** **【商工観光部長】** 企業における地域、社会への貢献活動については、既に多くの企業等において、清掃作業や森林保全、地場産品のPRなど、それぞれの創意工夫の中で取り組んでいただいている。今後においても、市として支援できる部分については、積極的にかわっていきたいと考えている。



近村 晴男 議員  
(花巻クラブ)

## 花巻城址百年構想への考え方 城跡の環境を大切にしてい

**Q** 「花巻城址を市民憩いの場とし、県内外にも紹介できる『市顔』として整備していく」という市民共有的方針を掲げ、「花巻城址百年構想」を立て、百年の大計で整備していく考え方があってよいと思うが見解を伺う。

**A** **【建設部長】** 花巻城は、「今の花巻」を長くくんだ貴重な遺産として、その歴史と文化を大切にしなければならぬと認識している。城址内では、これまでに顕彰案内看板等の設置、鳥谷ヶ崎公園内の散策路等が整備されており、市民の憩いの場として多くの方々が利用している。しかし、現地は一部個人所有地となっていることや現存の資料から復元することは困難であることから、西御門や石垣の復元に対応してきた。今後も城址にふさわしい環境保全に努めていく。



市民の憩いの場として多くの利用がある鳥谷ヶ崎公園

**A** **【市長】** 「こどもの城」は、子育てに関する総合的な拠点センターとして育ちと学びの場を提供するものであり、「中央図書館」は、市民一人ひとりの心豊かな生活の実現を支援する「市民に役に立つ図書館」を基本方針に掲げ、すべての市民が気軽に利用できる施設を目指している。それぞれ違う機能を果たしながらも、複合施設として整備することにより効率的な機能が発揮され、また、ストレスを感じることがないよう関係者の意見を十分に聞きながら基本設計に盛り込んでいく。

## 施設併設の考え方は

**Q** 「こどもの城」と「花巻中央図書館」を花巻厚生病院跡地に併設する場合の配置の考え方と、両施設の併設はお互いの利用者にとストレスを与えることはないかと危惧されるが見

## 市内企業の貢献活動

**Q** 地域産業の振興と市民とのかわりについて、市内企業等に



子宮頸がんワクチン

市政「こ」が聞きたい  
いっぱん質問

市政「こ」が聞きたい  
いっぱん質問